

“くらしよし”ふるさとビジョン 第11次倉吉市総合計画

みんなで目指す倉吉市の将来都市像
愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉

平成29年4月22日

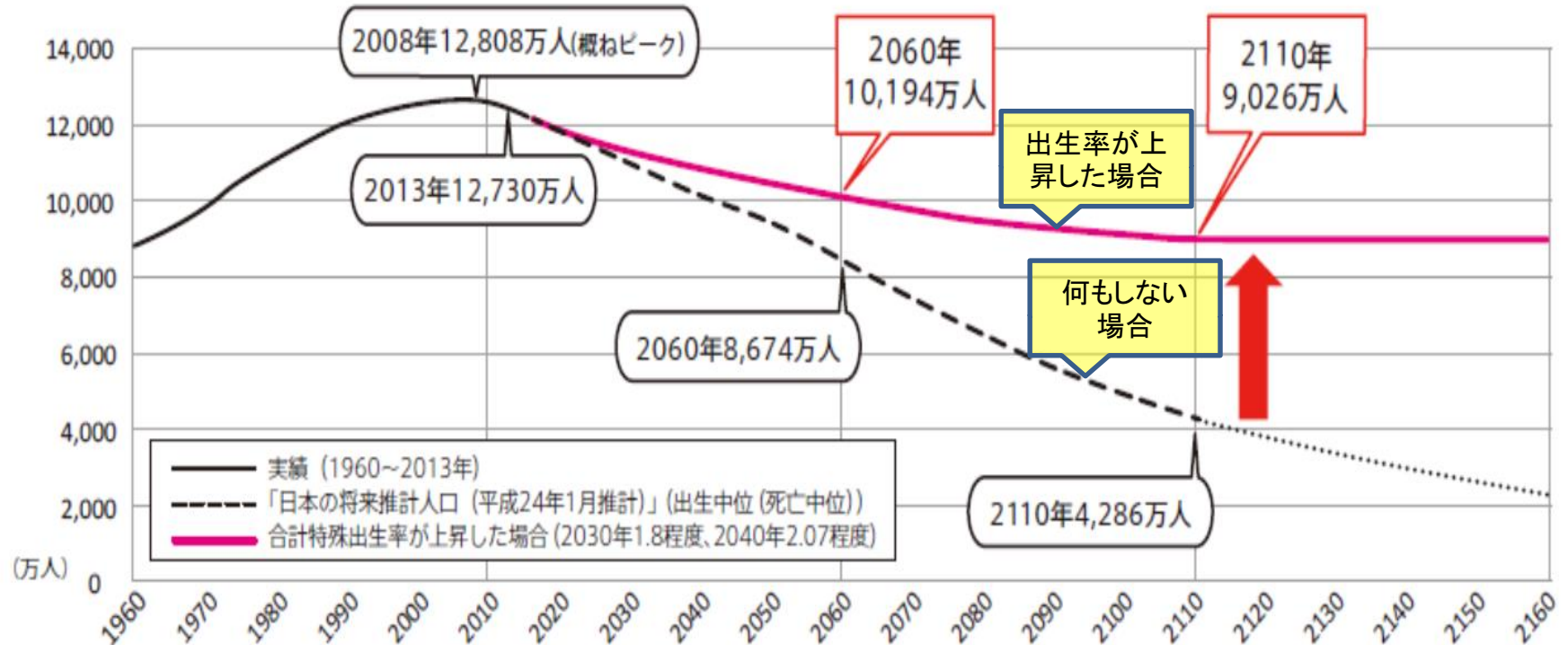
倉吉市企画振興部総合政策課

ビジョン策定の背景と目的

- 世界でも類を見ないスピードで進行する少子高齢化による人口減少・超高齢社会の到来への対応
- 諸外国の経済変動が地域社会にも多大な影響を与える経済のグローバル化への対応
- 国・地方を問わず深刻さを増す財政状況の悪化や地方分権の伸展への対応
- 人々のニーズが多様化・高度化し、また、今後ますます財政上の制約が高まっていくことが懸念されるなかでの地域課題解決への対応
- 「まち・ひと・しごと創生法」に基づき平成27年10月に策定した「倉吉市未来いきいき総合戦略」との連携

人口の将来予測(国全体)

我が国の人口の推移と長期的な見通し

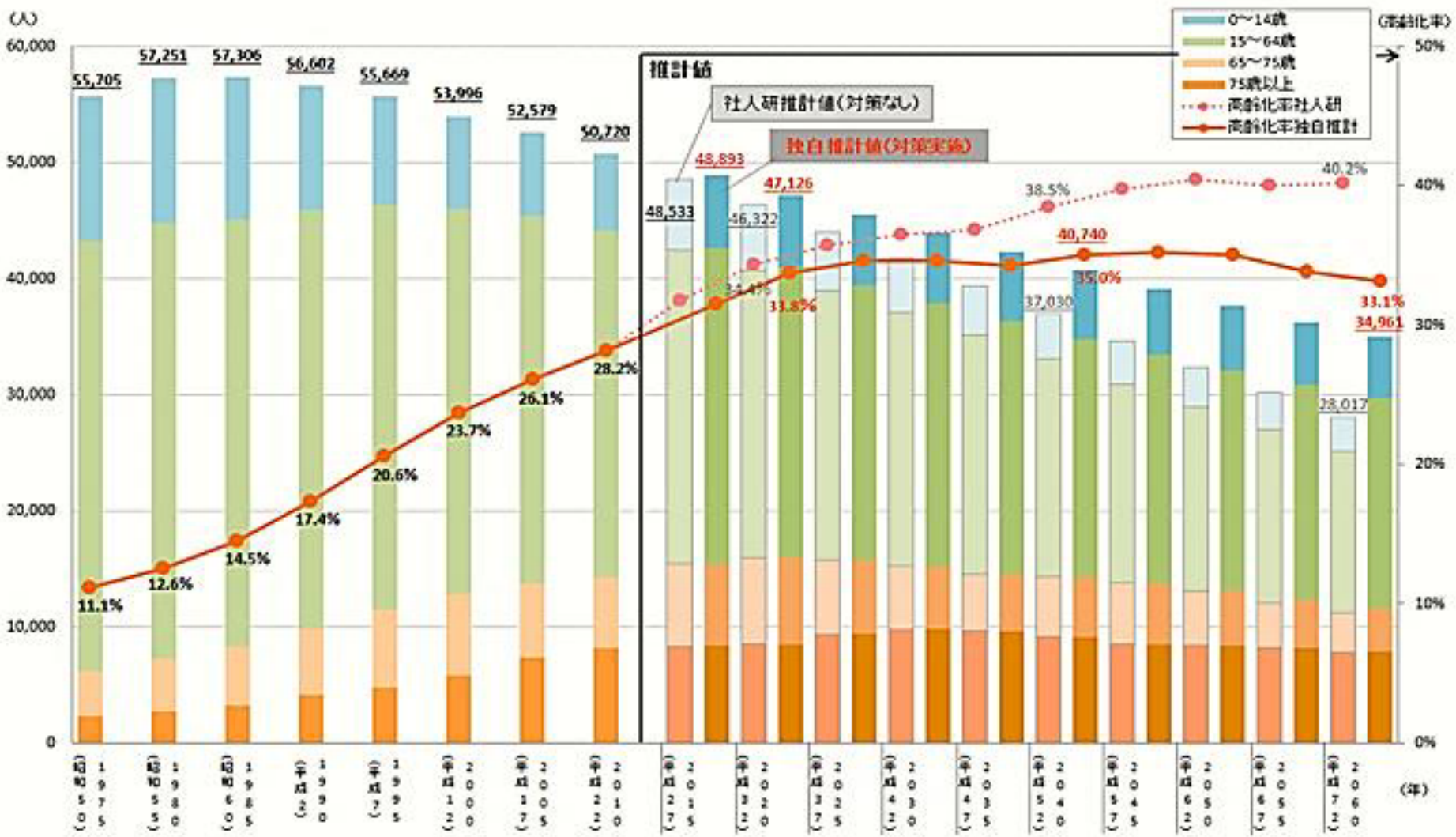


(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成24年1月推計)」 (出生中位 (死亡中位))

- 2008年(8年前)から始まった人口減少は、今後ますます進んでいく。
- 人口減少による消費活動の低下は、日本の経済に大きな重荷となる。
- 国は人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を目標としている。
- 人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって元気な日本を維持することを目指す。

人口の将来予測(倉吉市)

本市年齢3区分別人口の推移



人口の将来予測(倉吉市)

25年後の倉吉の人口は？

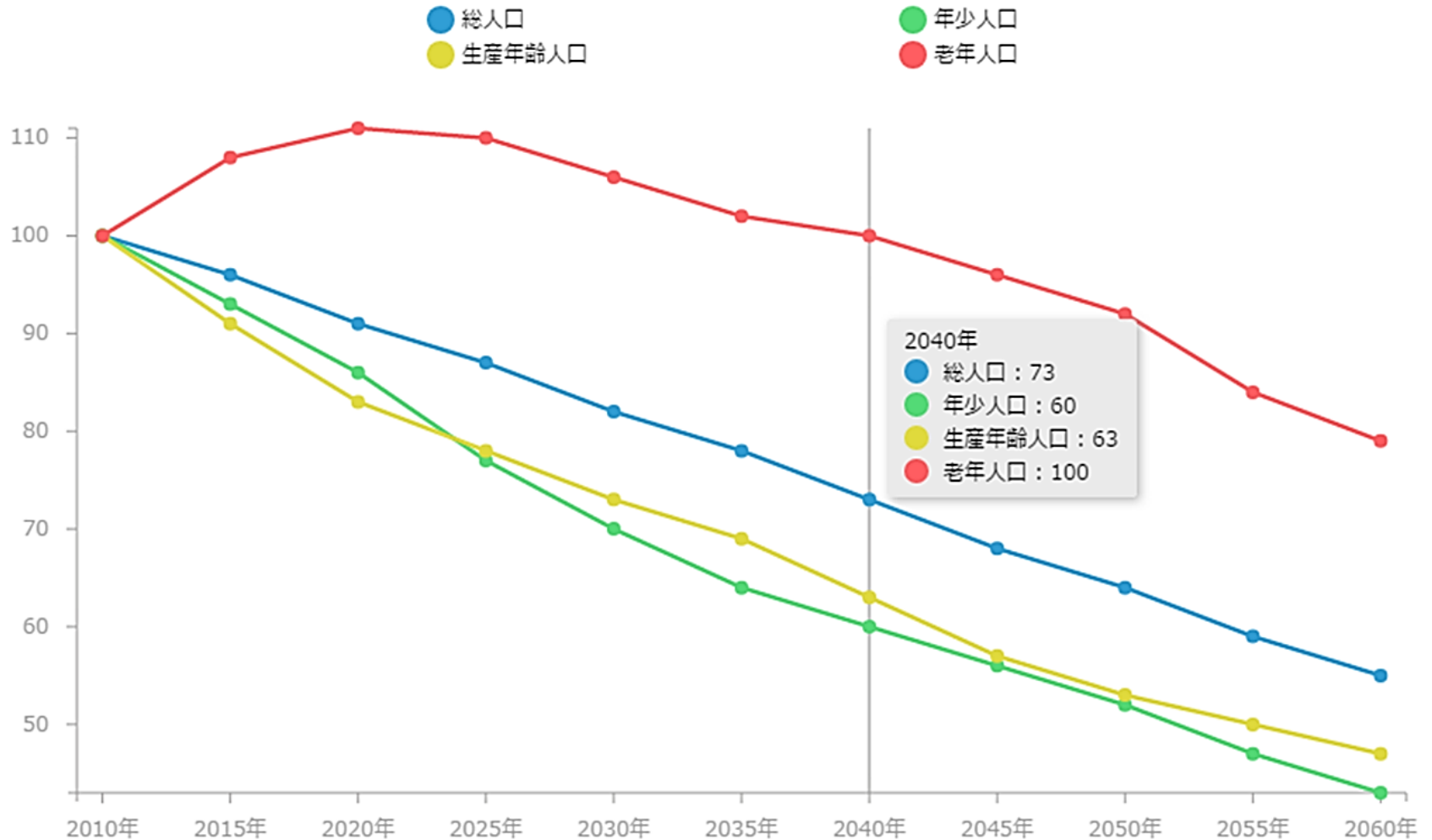
人口の減少や少子化高齡化は日本全体の流れ。倉吉の人口も1985年(30年前)の57,306人をピーク減り続け、2040年(25年後)には37,000人まで減ると予測されている。

2015年国勢調査人口：49,044人(確報)

| 時点 | 国の推計 (このまま何もしない状況) | 倉吉市の目標値 |
|-------|-----------------------|---------|
| 2015年 | 48,533人 → | 48,893人 |
| 2040年 | 37,030人 → | 40,000人 |
| 2060年 | 28,017人 → | 35,000人 |

人口の将来予測(倉吉市)

年齢3区分別人口推移



総合計画の戦略プロジェクト

将来都市像の実現に向け、特に取り組むべき基本テーマを「生涯にわたり“人財”を育み、その“人財”が活躍する地域の創出」と定め、まちづくりの方針の中から横断的に進める施策群

すべての親たちが倉吉市で子どもを産み、育てる喜びを実感でき、子どもたちにとっても、このまちで生まれ育ったことに愛着と誇りを持つことができるよう、地域ぐるみで子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めます。

- 子育て世代の負担軽減
- 出会いの機会の強化
- 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成
- 倉吉への愛着と誇りづくり

倉吉の産業を元気にし、多くの若者たちにとって魅力ある雇用の場を確保し、ゆとりと潤いを感じながら、いつまでも安全・安心で快適に暮らすことができるまちづくりを進めます。

- 農林水産業の倉吉ブランドの確立
- 80歳まで稼げる農林水産業の確立
- ものづくりの競争力を高める環境整備
- 安定した雇用基盤の整備
- 観光振興による交流人口の拡大
- 移住希望者をあたたかく迎え入れる体制整備
- にぎわいのあるまちなかの再生

子どもたちの
笑顔あふれる
まちをつくるために
【子育て】

基本テーマ

生涯にわたり“人財”を育み
その“人財”が活躍する
地域の創出

住みたい、
住み続けたい
まちづくり
【雇用・移住】

だれもがいきいきと
活躍できる
まちをつくる
【地域づくり】

人口目標を達成するために

- ◆出生率の向上(出生数400人/年の確保)
- ◆IJUターン者の確保(若者30人/年の確保)

自助・共助・公助を組み合わせながら、だれもが住み慣れた地域の中で、いつまでも自立していきいきと自分らしく活躍することができるまちづくりを進めます。

- 高齢者の活躍による地域の担い手と活力づくり
- 障がいがあっても安心して活躍できる環境づくり
- 女性が活躍できる環境づくり
- 人が集い魅力ある地域づくり
- 地元大学生の力による地域づくり
- 自ら志を持ち、地域に貢献できる人財の育成
- 市民参画と協働のまちづくりを支える仕組の充実